

みの EDO

発行：多治見市美濃焼タイル振興協議会
TEL 0572-43-2141
発信：多治見市・笠原町東京情報局
TEL 03-5225-6863

特集

「卒業記念モザイク壁画づくり」でモザイク制作指導に奮闘!! 東京都タイル技能士会の果敢な取組み



西ヶ原小 6年生の卒業制作 (モザイク壁画合同作品 /H25・26年度)



展示場所の通用玄関内



展示場所の正面玄関内



落合第三小 6年生の卒業制作 (モザイク壁画合同作品 /H26年度)

東京都タイル技能士会（金澤久雄会長）では、十数年前から都内小学生のものづくり体験学習として「タイルモザイク教室」等の実施に協力している。また近年は、東京都職業能力開発協会・東京都技能士会連合会などによる「ものづくりフェア」や全技連マイスター会による「匠の技展」などの出展にも協力し、モザイク体験指導などを行ってきた。

一方、「ものづくり日本」再興の気運の高まるなか、厚生労働省の委託事業として平成25年度からは東京都職業能力開発協会に東京都技能振興コーナーが設置され「若年技能者人材育成支援等事業」が推進されているが、その一環として都内小中高校生にもものづくり体験の場を提供しようと「ものづくり体験指導」「タイル張り実習」なども実施している。この2月には小学6年生の卒業記念制作として、モザイク作品づくりと壁画制作にタイル技能士会が全面的に協力して小学校2校（北区立西ヶ原小学校、新宿区立落合第三小学校）で実施した。そのもようをお伝えする。

小学6年生卒業記念『タイルモザイク壁画制作』を指導

北区立西ヶ原小学校 モザイク画制作から壁画完成まで H28.2.15



指導にあたったタイル技能士の皆さん



手順を説明する金澤会長



モザイク画制作の説明と注意



モザイク画に取り組む



指導にも熱がこもる！



熱心にモザイク画制作に

東京都技能振興コーナーの推進するものづくり体験学習として、ものづくり学習に熱心な北区立西ヶ原小学校（松本武志校長）では、平成27年度卒業の6年生全員が卒業記念の「タイルモザイク壁画制作」に取り組んだ。この委託事業としての実施は平成25年度からだが、実はタイル技能士会では地域貢献活動として西ヶ原小の要請を受けて、モザイク壁画の制作指導は平成23年から行なっている。

今年（平成27年度卒業）の6年生は全1クラス35名。

全員がそれぞれに木製下地にモザイク画を作成し、それらを集合して壁面に取り付けてモザイク壁画として完成させようというものだ。その制作指導、壁画施工を「タイルモザイク教室」の実施に協力している東京都タイル技能士会が行なった。

手順としては、用意した木製トレイ（185mm角）に生徒にあらかじめ下絵を描いておいてもらい、2月15日（月）午前中4時限を図工の時間にあて「モザイク画制作」をカラフルな100mm角内装タイル（在庫品）を喰切りを



完成して壁に張付けられた壁画作品（この日欠席した4人の児童の作品が未完）



目地つめ作業



完成したモザイク壁画の前で



コンパネ下地板に接着剤張り



完成したモザイク作品を張付ける

用いてカットしながら木工ボンドで張付け、6年生全員がそれぞれ完成するまで行なった。

目地づめは制作指導する技能士さんたちが行ない、生徒たちは自分の作品に目地セメントが詰められ、きれいに仕上がってゆく様子を興味深そうに見つめながら、その完成度に満足しているようだった。

出来上がった生徒のモザイク作品を少し乾かしてから、昼食後、1階通用玄関ホールの内壁に、あらかじめ取付けておいたコンパネ下地板（1288×920mm）に有機系

接着剤で技能士さんが張付け、全体が壁画となるよう図工の濱方先生と相談しながら納めていった。

「こうしたタイルのものづくり体験学習をとおして、子どもたちがタイルの魅力やモザイクアートの楽しさを感じてもらい、少しでもタイル技能士という存在を知ってもらうきっかけになれば」と金澤会長は、タイル技能士会の啓発活動として少しでもタイル文化の普及につながることを期待する。

モザイク卒業制作＊後日譚

西ヶ原小学校卒業生の皆さんから技能士会に届いた御礼のお手紙から～

卒業記念の壁画制作を終えて巣立って行った、元6年生の皆さんから、タイル技能士会に「モザイクアート体験」の御礼の手紙が届いた。その一部を抄録してご紹介したい。



モザイク作品を一堂に！



下絵



完成したモザイク作品例 (185 ミリ角)

「私は最初に見たときはとても簡単そうに見えたので、4時間も使うのかなと不思議でした。でも実際にやってみるととても難しかったです。なぜならタイルがちょうどいい大きさ、形に割れずになかなかできなかったからです。でもみなさんがやさしく教えてくださったおかげで、少しずつちょうどいい大きさに割ることができるようになりました。おかげで世界に一つのモザイクタイルができました。本当にありがとうございました。」(女子)

「私は最初は描く絵が決まっていませんでした。けれども何とか思いついて終わってみんなを見ると、もう終わっている人もいました。『うわっ、ヤバッ…』と思いました。けれどもみな様が教えてくださったたり、タイルをわってくれたり、おかげですばらしいモザイクアートが作れました。セメントをぬる時もサッサッとやってくれました。その手際の良さに感動しました。ありがとうございました。ぜひ私達が作ったモザイクアートを見に来てください。」(男子)

「ぼくはこのモザイクアートで学んだ事がたくさんありました。特に学んだ事は本物の職人さんのすごさです。なぜならばぼくが切ることができなかつたりすると、『手伝ってあげようか』と声をかけてはまりやすい形に切ってくれて、とても作業の進みがよくなりました。もう一度やってみたいという気持ちになりました。今度、機会がありましたら、教わったことを生かしたいです。」(男子)

「モザイクアートを作っていくとき、タイルを張る作業がむずかしかったです。できた作品もなんだかよく分らない形でしたが、とても達成感を感じることができました。集中して一つずつはめていくのがつかれたけど、楽しかったです。やさしい指導のおかげで作品を作ることができ、とてもうれしかったです。セメントをぬってみがいいたあとタイルがきらきら光っていたのできれいだな思いました。機会があったら、もっときれいに作れる工夫を教えてください。」(男子)

「初めてやった時は、上手くやれるか少し不安になりました。しかし職人の方に上手く切れる方法を教えていただいたので、少しずつ切るコツが分かるようになりました。あと職人の方にたくさん切っていただいたので、本当に申しわけないな—と思いました。けれどもおかげで早く進めることができました。ありがとうございました。とてもモザイクが楽しかったです。この気持ちを忘れず中学・高校に行ってもがんばりたいです。」(女子)

小学6年生卒業記念『タイルモザイク壁画制作』を指導

新宿区立落合第三小学校 モザイク画制作から壁画完成まで H28.2.29



指導にあたったタイル技能士の皆さん



モザイク画制作の説明と注意



指導にも熱が入る！



モザイク画制作指導



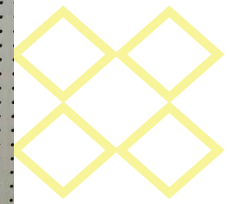
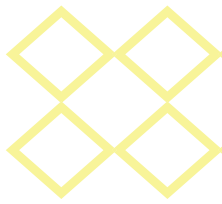
熱心にモザイク画制作に

西ヶ原小と同じように東京都技能振興コーナーの推進するものづくり体験学習の委託事業として新宿区立落合第三小学校（服部みどり校園長）でも、昨年、平成26年度からタイル技能士会では6年生の卒業記念として、モザイク壁画の制作指導に取り組んでいる。

今年（平成27年度卒業）の6年生（1・2組）全2クラス70名。全員がそれぞれに木製下地にモザイク画を作成し、それらを集合して壁面に取り付けてモザイク壁画として完成させようというものだ。その制作指導、

壁画施工を「タイルモザイク教室」の実施に協力しているタイル技能士会が行なった。

こちらの手順としては、用意した木製コースター（96mm角）に生徒たちにあらかじめ下絵を描いておいてもらい、2月29日（月）午前中4時限を図工の時間にあて「モザイク画制作」をカラフルな100mm角内装タイル（在庫品）を喰切りを用いてカットしながら木工ボンドで張付け、こちらは6年生が2クラスなので午前中の2時限ずつをそれぞれの持ち時間として、時間内に完成するよう



完成して壁に張付けられた壁画作品（欠席した4人の児童の作品が未完）



目地つめ



コンパネ下地板に接着剤を塗る



完成したモザイク作品を張付ける



モザイク作品の張付完了！（未完）

に実施した。

やはり目地づめは技能士さんたちが行ない、生徒たちは自分の作品に目地セメントが詰められ、きれいに仕上がってゆく様子を興味津々に見つめながら、モザイクアートの醍醐味を再発見しているようだった。

出来上がった生徒のモザイク作品を少し乾かしてから、昼食後、1階正面玄関ホールの内壁に、あらかじめ取付けておいたコンパネ下地板（965×675mm）に有機系接着剤で技能士さんが張付け、全体が壁画となるよう図工の小田先生と相談しながら納めていった。

「モザイク指導の最初のあいさつでは、こちらも真剣に一

所懸命教えるので、ふざけ半分にやらないように注意します。そして、ものづくりの楽しさと同時に難しさも体験してもらいながら、作り上げたときのうれしさ協力して作り上げていく達成感を味わってもらえたらうれしい。それがやがて、タイルファンを育てることにつながれば…」

金澤会長とともに、これまでタイルの普及啓発活動としてモザイク体験指導に先頭に立って取り組んできた桑原専務理事は、そう語っていた。

■ 東京都タイル技能士会
TEL 03-5225-6863 FAX 03-5225-6466

モザイク卒業制作＊後日譚

落合第三小学校卒業生の皆さんから技能士会に届いた御礼のお便りから～

記念の壁画制作を終えて卒業生として巣立って行った、元6年生徒たちから、タイル技能士会に「制作指導」に対する御礼のお便りが届いた。その一部を抄録してご紹介する。



モザイク作品を一堂に！

「先日は、ぼくたちのためにモザイクを教えに来てくださってありがとうございました。おかげで一生に一度の小学校の卒業制作をつくることができました。ぼくがモザイク作りで一番心に残っているのは、先生方のやさしい指導です。ぼくは最初タイルを細かく切りすぎてうまく板に張り付けられず困っていました。でもそれに気づいた先生が切り方を教えてくださり、きれいなタイルの張り方で教えてくれました。そのおかげで早く作品が仕上がり、友だちの手伝いもすることができました。」(男子)

「先日はモザイクアートを教えていただき、ありがとうございました。特に印象に残っていることは、タイルを切る作業です。最初は全然切れずに困っていました。ですが、先生が『半分だけタイルに当てるといいよ』と言ってくれました。おかげですてきなモザイクアートができました。またモザイクアートをやる機会がありましたら、よろしく願います。」(女子)

「モザイクアートはとても時間がかかり、とても難しかったです。でも終わった時に先生から『おー、すごいね』と言われたときに、達成感がわきました。この達成感は忘れられません。タイルを張り終わって、セメントを入れてきれいにふき取るととてもきれいに出来上がったので、やはりすごいな、と思いました。やさしく教えて下さり、本当にありがとうございました。」(女子)

「ぼくが一番印象に残っているのは、タイルをパキパキ切る作業です。理由は二つあります。一つ目はタイルを割る時に『パキッ』という音が鳴ってとても楽しかったからです。二つ目は、ぼくの進み具合に合わせて、『もっと細くしてあげるよ』『この色のタイルもっと必要かもねー、取ってきてあげる』と優しく接してくれたので、とても気持ちよく作業ができました。楽しかったです。」(男子)

「私は、初めモザイクは簡単そうだなと思っていました。けれど実際にやってみると意外と難しく、すぐ大変だったけれど先生に手伝ってもらい何とか時間内に終わりました。そして一つ一つの個性が集まると、大きなアートになることを学びました。だからこれからは、みんなの心も一つにできるようにしていきたいです。ありがとうございました。」(女子)



完成したモザイク作品例 (96 ミリ角)